

## 授業参観レポート

### 6月は郷野先生の地理（一年生）を参観しました。

チームスの有効的な活用実践例。

タブレットが導入されて早くも1年が経過し、様々な場面で活用されているのを目にすることができている。タブレットを活用していく中で、こんなこと思ったことないでしょうか？「自分の画面を生徒のタブレットに共有したい！（画面共有）」「生徒同士、共同編集させたい！（ファイルの共同編集）」「フォームス等で得られたデータを生徒別に蓄積したい！（データ分析）」タブレットを使えば使うほど、このような悩みが出てくるのではないのでしょうか。

今月号はそんな先生方のお悩みを少しでも解消できればと思い一つの活用実践例を紹介する。今回は地理で、郷野先生が実践されている画面共有についてだ。画面共有とは教員が提示するスライドや画像データなどを生徒のタブレットに画面共有する方法である。

#### 生徒全員が思考していた

授業参観してみても、まず、感じたことは、授業に活気がするということだった。時間の都合上、授業開始20分後から参観させてもらった。すでに3人から4人の小グループに分かれ課題に取り組んでいたのだが、誰もが、何かしらの活動をしていた。そして驚いたことに、ただ、黙々と活動しているのではなく、グループ内での生徒達の多くの発言を聞くことができた。その中でも、「分かんらん」「どういうこと？」「どうなつとると？」といったような“分らない”ことをグループ内で共有できる環境が整っていることに感動した。もし、私がこの場にいたら置き換えて考えてみると、出来れば、分からないことをひた隠しにするだろうし、それどころか、あたかも分かって

いる風を装っていただろう。しかし、このクラスでは、自分達の感情をそのまま出すことができていました。普段からの授業づくりを、ものすごく工夫をされてきたのだなと感じとることができた。チームス活用実践例を見に行ったのですが、思いがけず素敵な授業を参観することができた。



グループワークの様子  
各班それぞれ活気があった

## 近距離共有というのがある

スマホやタブレット等にはNFC(近距離無線通信)という機能が搭載されている。例えばアイフォーンでは、エアドロップ。一時期エアドロップ痴漢という迷惑行為で話題になったので知っている人も多いだろう。そして、あまり知られていないのが、アンドロイド端末にも搭載されている、アンドロイドビームという機能。実は、猶興館の教員・生徒に貸与されているタブレットにも搭載されている。それは、近距離共有。この機能を使えばタブレット上のファイルに近いのタブレットに瞬時に送ることができる。授業でも教員が作成したワードやスライドなどを共有することで授業に幅が出てくること間違いなし。しかし、この近距離共有は、教員用も生徒用も、機能制限がかかっており使用できないというのが現状だ。

## チームスの会議機能の活用

チームスで会議が行えることはご存知だと思うが、その会議中に画面共有ができること知っている人は何人いるだろうか?その機能を授業で使うという斬新な発想をしたのが、今回の授業者である郷野先生だ。地理の授業では白地図を読み解

き、作図をする力が必要になってくる。これまではスライドや書画カメラを用いて、前方スクリーンに表示するのが一般的であった。ただ、いくら画面が大きいたはいえ、地図自体が細かい曲線で描かれていたため見にくいという点も否定できなかった。タブレットが導入されるにあたって、授業者の画面を生徒のタブレットに映し出すためにどうしたらよいかを常に考えてこられた郷野先生。試行錯誤の末辿り着いたこの手法が、一番生徒にとっても、教員にとっても良い方法なのではないかと仰っていた。



教室のプロジェクター(教員画面)と同じ画面が生徒タブレットにも表示されている

## チームスを使いこなす?

タブレットを活用するにあたって、使い方における様々な悩みをお持ちだろう。今回紹介させてもらった会議機能は、文字通り、会議をする基本的な機能の一つである。それを、ちよつとだけ工夫した使い方をすることで、今回のような思わぬ効果が得られることが分かった。ただ、常に効率良い活用方法を考え続けることは時間的にも多くの労力が必要となる。そのような負担が少しでも軽くなればという思いで、活用実践例を紹介していくので、是非参考にしたい。



授業ノートとタブレットが開かれた状態  
教材としてタブレットが重要な役割を担っている